

名前：

された

インターネットの発展につれて、いろいろな情報を手に入るのもとても簡単なことになっていった。今日何か大事なことが起きたのが、世界で何があったのか、それとも生活に関する情報とか、すべてのインフォメーションはマウスをクリック押すだけで、あっという間に目に映るのだ。

その故で、この情報の量が火山爆発の如き時代で、新聞や雑誌の存在はもういらないという意見が提出された。彼らによると、今はインターネットのおかげでパソコンでニュースを見ることができるからだそう。一方、新聞や雑誌は必要だという主張する人もいる。このように、必要か必要ではないかと意見が二つに分かれている。

私は必要だと主張する。それは新聞や雑誌はインターネットの出現を促成する肝心な要因だ。今われわれが便利な生活を送っているのは、たくさん人の電気製品があるからだ。それらの製品が発明されたのは、新聞や雑誌な

どにあっては流情報とは関係ないとは言えないだろう。つまり、今の様な情報化時代になっていたのは、新聞や雑誌がなければ無理だ。

それに、読者にとって新聞や雑誌で見た記事とインターネットでの感じもな人となく違う。それは見ると読むとの違さだ。新聞と雑誌は本を読んでいると感じさせる、だが、インターネットニュースはパソコンを見るだけのような気がする。でも、見るだけでは忘れやすいから、この点からすると、やはり新聞や雑誌での情報収集の方がいい。もちろん、電気を付けないと、パソコンは使えなくて、インターネットにつながってニュースを見ることができないのは言うまでもない。

今われわれは情報化時代にいる。何もかもがインターネットにかかわっている。しかも、いくら便利なものでも、必ずその陥点が存在している。だから、一筋にインターネットのよいところを唱え、崇拜するのは間違っている。

1800字

名前：

る行為だ。われわれはインターネット以外の  
事も重視する必要だ。だからこそ、私はイン  
ターネットの便利さを利用しつつ、新聞や雑  
誌も読む必要がある、即ち、新聞や雑誌は必  
要だと思っている。